

整理番号	3-14-2-1
------	----------

決裁	会派代表者		経理責任者		経理担当者	
----	-------	--	-------	--	-------	--

支出証拠書

(会派名・議員氏名 自民改革会議・鈴木啓嗣)

経費項目	調査研究費 研修費・広聴広報費・要請陳情等活動費・会議費・資料作成費・資料購入費・事務費・事務所費・人件費		
内容	静岡県議会 観光振興議員連盟視察		
年月日	令和2年2月24日~令和2年2月25日	金額	55,790円

目的	別添概要書参照
使途	宿泊・交通・手配料
政務活動・ 県政との 関連性	別添概要書参照

《領収書貼付枠》

ご利用明細 静岡銀行

ご利用ありがとうございます。
内容をご確認いただきお持ち帰りください。




年月日	振替先店番・科目・口座番号		
02/02/27	044		
銀行番号	店番号	科目	口座番号
***	***	**	*****
お取扱店	お取引内容	お取引金額	
0378	電信振込	¥55,460	
お取扱枚数	00000000000000000000		
	おつり	残高	
	¥4,210		
キャッシング	手数料	時刻	お取扱い できない場合
	¥330	1409	0131

お振込先明細
シスオカ
ハママツ
普通 100240
カ) インテツラベル 様

ススキケイシ 様
TEL053-440-3800

06.520.38 (裏面もご覧ください)

按分の理由	領収書金額 (a)	按分率 (b)	政務活動費支出額 (a×b)
全て政務活動に関わるもの	55,790円	100%	55,790円

決 裁	会派代表者		経理責任者		経理担当者	
<p>県 外 調 査 概 要 書</p> <p style="text-align: right;">令和2年3月3日</p> <p style="text-align: center;">会派名・議員氏名 自民改革会議・鈴木啓嗣</p>						
目 的	観光振興に関する事項の調査					
年 月 日	令和2年2月24日(月)～2月25日(火)					
場 所	広島県 呉市、広島市、尾道市					
内 容	<p>1 行程</p> <p>2 応対者</p> <p>3 聴取内容</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">1～3については、別添報告書を参照</p> <p>視察団メンバー 宮沢正美、落合悌博、土屋源由、鈴木澄美、藤曲敬宏、野田治久、 坪内秀樹、木内満、河原崎聖、江間治人、伊丹雅治、勝俣昇、 西原明美、飯田末男、杉本好重、鈴木啓嗣</p> <p>4. 県政への反映 別添参照</p>					

* 本概要書は、県外における調査研究活動のために政務活動費を支出した場合に提出する。

【宿泊先】

広島 東急 REI ホテル

住所：広島市中区三川町 10-1

電話：082-244-0109

【行程】

<2月24日>

～各地～~~静岡駅~~~~浜松駅~~~~名古屋駅~~~~広島駅~~
9:11 発 ひかり 463 9:37 発 10:07 着 / 10:13 発 のぞみ 17 12:26 着
~~広島駅~~~~呉駅~~…大和ミュージアム (視察) …~~呉駅~~
13:30 発 安芸路ライナー 14:03 着 14:30～15:30 16:56 発 安芸路ライナー
~~広島駅~~…～タクシー～…広島市内 (泊)
17:28 18:00 頃

<2月25日>

ホテル…～徒歩～…広島県庁 (視察：せとうち DMO) …～タクシー～…~~広島駅~~
8:50 9:10 / 9:15～10:30 10:50 / 11:00 発 こだま 736
~~新尾道駅~~…～タクシー～…尾道 (視察：空き家再生プロジェクト) …～タクシー～…
11:46 13:15～15:00
…~~新尾道駅~~~~福山駅~~~~名古屋駅~~
15:20 / 15:50 発 こだま 744 15:58 着 / 16:03 発 のぞみ 38 17:55 着 / 17:59 発 こだま 674
~~浜松駅~~~~静岡駅~~~~三島駅~~
18:47 着 19:19 着 19:45 着

静岡県議会 観光振興議員連盟視察報告

① 呉市 大和ミュージアム

1. 概要

- 日時 令和2年2月24日(月) 14時30分～16時30分
- 場所 呉市海事歴史科学館(愛称・大和ミュージアム)
- 目的 観内見学、指定管理者のブリーフィング
- 面談者 大和ミュージアム入船山記念館運営グループ 統括事務局長 上元新一郎 氏
呉市海事歴史科学館 学芸員 濱名翔平 氏

2. 調査結果

1) 施設見学・・・ボランティアスタッフ・奥 俊介さんによる案内

- ✓ 呉市は、古くは村上水軍の一派が根城とし、明治維新以降は呉鎮守府が設置され、旧帝国海軍の拠点となった。三方を山に囲まれ、水深が18～20メートルあり、大きな船の航行に都合がよいこと、軟水のためさびにくいという特性、また島に囲まれて波が穏やかであることから、東洋一の造船の町として栄えてきた理由でもある。
戦後は世界最大のタンカーを数多く建造するなど、造船国として日本の近代化発展の一翼を担った。
- ✓ 館内の中心に、このミュージアムの象徴である10分の1に縮小された世界最大の戦艦「大和」が設置されている。
昭和20年4月7日、米軍からのたった4発の砲撃で沈んだ大和ではあるが、エンジンは41cm厚さ、3.5メートル×9.5メートルの鉄板で囲まれていたという。建造費用は総額3000～4000億。東京～新大阪間の新幹線開通費用に匹敵するものだった。
- ✓ 「呉の歴史」展示室には、造船の町として歩んできた呉の歴史が、江戸時代末期のペリー浦賀上陸から始まり、造船の町として歩んできた現代にいたるまで、数多の模型や資料が時系列に展示されており、大変わかりやすく丁寧に表現されている。
- ✓ 特に大和に関する資料は興味深い。昭和10年代に秘密裡の建造された大和は当時日本人が持ち得る最高の知識の結集と言える。設計に携わった学者や軍人の記録も多く残り、緻密に描かれた設計図など、現存する資料の多さに驚くばかりだ。
- ✓ 平成28年5月に潜水調査が行われ、海底350メートルに沈む大和の映像なども観ることができる。
- ✓ 「大型資料展示室」には、零式艦上戦闘機(ゼロ戦)や人間魚雷「回天」、特殊潜航艇など、実物が展示され、特に特攻隊員となり回天に搭乗した慶応大生が残した遺書が当時では珍しく録音させた声の遺書として残っており、聞くことができる。

2) 運営側のブリーフィング

- ✓ 平成17年4月開館し、15年目に入る。

平成2年度より県立博物館としての基本構想策定が始まるも、平成8年に断念、呉市主体の博物館建設推進へと事業変更、翌年呉市海事博物館基本計画を策定、約6年かけ資料収集し、平成17年4月の開館へとこぎつけた。

- ✓ 入場者予想は、初年度40万、それ以降は20万人と想定していたが、予想覆す来館者が多く訪ねている。

実際には初年度160万人、それ以降、90~100万人で推移している。

- ✓ 総事業費は、約65億円。国県からの補助約15億、市の負担が約26億ほか、個人・地元企業・旧海軍出身者からの6億の寄付があった。
- ✓ 開館後3年間は、市の直営で、平成20年から指定管理制度を導入し、民間力を活用した運営が続いている。

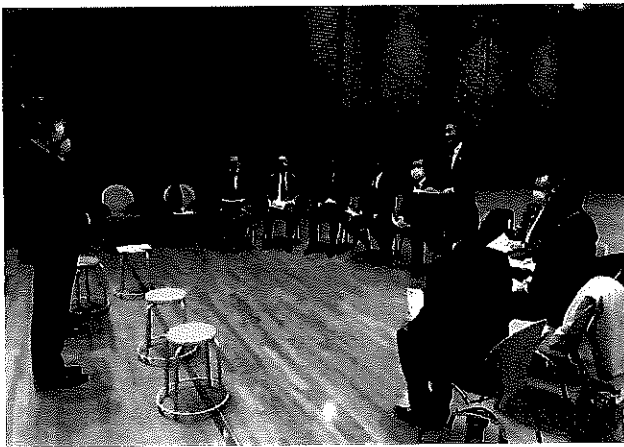
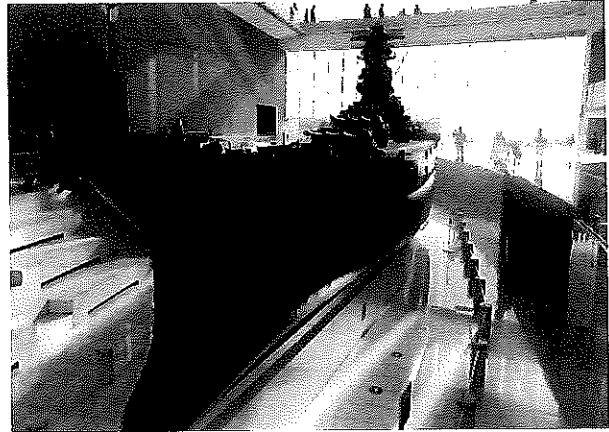
凸版印刷・トータルメディア開発・日本旅行・ビルックスの四社からなる運営権者「大和ミュージアム入船山記念館運営グループ」による運営であるが、指定管理者の運営としてすでに3期目となっており、直営がいいのか、指定管理者がいいのか、その判断をしている段階である。

- ✓ 1~2階は、資料館。3階が体験学習スペース。4階は学芸員や市の職員の事務室。
研修を経たボランティアスタッフが無償で活躍している。
運営側と学芸員、ボランティアスタッフの協力体制ができています。
- ✓ 博物館としての目的は、広島という土地柄、平和教育である。
子どもたちの教育旅行の目的地として定着してきている。
- ✓ 最初の5年間は、大和の体験者が多く入場したが、最近は若年層やマニアの方が多く、またリピーターも来ている。来館者の18%が広島県内からだが、関東や近畿などの都市部からの来場者も増えており、観光地として知名度が上がってきていると分析。
- ✓ 学芸員が常駐し企画展などを展開しているが、展示物などのマンネリ化が課題である。
- ✓ 予想を超える来場者がきているので、少々キャパオーバーを認めない。課題である。

3. 考察と所見

- 呉市の海事歴史の博物館であるが、その中心に何といても戦艦大和を象徴として捉えるコンセプトがこれだけの来場者を迎えている要因だろう。
建物の中心にその大和を置き、ガラス越しに見える海の景観も魅力的であり、また展示物自体もわかりやすく、建物自体、見事に構成されていると感じた。
- JR呉駅から徒歩7~8分の距離と、海に面した立地が素晴らしい。
- 膨大な資料があるため、じっくり観るにはかなりの時間を要す。その故にリピーターやマニアの来場があるのだと推測できる。
- 日本海軍の歴史という観点から、中国や韓国からの来場者が多くなく、国情に左右されることはないのも強みである。
- 平和教育を担っていることも意義深い。

【参考写真】



② 広島県庁 せとうち DMO

1. 概要

- 日時：2020年2月25日（火）9時15分～10時30分
- 場所：広島県広島市
- 目的：広域連携で運営している「せとうち DMO」の仕組みや具体的取り組み等の先進的事例を学び、静岡県の観光振興に資するため。
- 面談者：一般社団法人せとうち観光推進機構
専務理事 金平 京子 氏
マネージャー 安達 貴光 氏 ・ チーフ 増田 晶次 氏

2. 調査結果

1) 金平京子 専務理事 挨拶

- ・東京生まれで東京育ちであり、まだ在任数カ月。
- ・東京以外で一番縁があるのが静岡で、東京から近くで、富士山を有する魅力が多い観光県だと思う。
- ・「せとうち DMO」は瀬戸内7県を束ねる広域連携の組織である。

2) 安達 貴光マネージャー 事業紹介

- ・「せとうち DMO」は瀬戸内7つの県の広域連携で BtoB BtoC のエリア全体のマーケティングとマネジメントを行っている。
- ・現在日本版 DMO 登録法人が150ある中、広域連携 DMO は10あり、「せとうち DMO」は、そのうちにひとつ。(DMO=Destination Marketing (Management) Organization)観光地を活性化させて観光地域全体を一体的にマネジメントしていく組織：[観光地経営]
- ・ミッションは、瀬戸内ブランドの確立し、地域経済活性化による地域再生であり、定住人口の増大につなげ、自立的かつ持続的な成長循環を作り上げることが目的。
- ・4つのビジョンを掲げ、目的達成のための KGI (Key Goal Indicator) を設置。
そのひとつが訪日外国人宿泊者数を2020年に瀬戸内7県600万人泊としている。着実に増えている
- ・インバウンド戦略は、欧米5か国をターゲットとしている。対象国はイギリス・ドイツ・フランス・アメリカ・オーストラリア。その理由として、エデュケイテッドトラベラー(=知的旅行者)はアジアより欧米に多いこと。現地メディア及び旅行会社との関係を構築。対象国ごとに、トラベルエージェンシーを設置し、メディア、旅行業者、業界団体等を適切に選択。「PR」「Promotion」「Travel Trade」など効果的・持続的に取り組み市場を深堀している。
- ・なるべくお金をかけず、現地の代理人に情報を提供している。その活動の成果として、イギリスの情報誌にて、2019年度行くべき旅行先第1位にランクインした。
- ・魅力的な商品・サービス創出にむけた取り組みとして
瀬戸内のクルーズ船事業に対する支援・ホテル開業の資金支援・製菓新工場への資金支援
STU48の運営会社に支援
複合レジャー施設に対する支援(ファンドを活用)・ホテル資金支援(ファンドを活用)
アウトドア向け地図アプリ運営会社への出資・「サイクルシップ」導入支援
新たな観光拠点水族館への出資・せとうち DMO 産品通販サイトの運営
空き古民家を活用した商業施設の開発とリノベーション

<せとうち DMO の沿革>

- 2011年3月 広島において「瀬戸内 海の道構想」策定 これがすべてのスタート
- 2013年4月 瀬戸内を共有する7つの県(兵庫県・岡山県・広島県・山口県・徳島県・香川県・愛媛県)による任意団体「瀬戸内ブランド推進連合」発足
- 2014年 行政だけで補助金に頼ってはいけなという考えのもと、金融機関が中心となつて民間も入つての検討会発足
- 2015年7月 行政中心であつたものを、一般社団法人化、事業化支援組織推進室の設置
一般社団法人瀬戸内ブランド推進連合
→ 一般社団法人せとうち観光推進機構(発展改組) 7県 11社
- 2016年4月 新会社「株式会社瀬戸内ブランドコーポレーション」設立 46社
せとうち DMO 事業開始
- 2017年2月 会員制度「せとうち DMO メンバーズ」開始
- 2017年11月 観光庁の「日本版 DMO」に登録

3) 課題及び意見交換内容

10年程度でここまで進んだのは、広島県知事のリーダーシップと熱い思いが他の県を動かしたことが大きい。

互いに競合しあう位置関係にある隣接する県が、一つにまとまることの難しさもある。

各県の運営の負担割合は、人口、観光資源などの一定の規則のもと違うが、7県からの合計は1億5千万円。その内広島は4千万円を負担。

3. 考察及び所見

DMOは現在150の登録があるが、その内広域連携が10。今回視察した「せとうち DMO」はそのひとつ。地域で観光を盛り上げることは一般的であるが、予算、規模等を考えると、連携することは課題解決の一つのヒントになる。しかし静岡県は、富士山を核とし、東西に長い地形で、東部、中部、西部とそれぞれの魅力ある個性を引き立たせれば、なんでもある県である。故に、山梨県であれば、富士山という共通するものがあるが、隣接する神奈川県や愛知県との連携がどのような形になるかは想像に難しい。まして、幹事県にとってのメリットは大きいですが、その他の資源のすくない県は、不公平感が発生してしまうことも考えられる。その点か考えても、広域連携の核となる県のリーダーシップが求められる。

また今回の新型コロナウイルスのような事があると、これまでインバウンドに重点を置いてきた観光事業の弱点に気づかされる。今後はリスクの分散を図るなどの対策が必要となる。

【参考写真】



静岡県議会 観光振興議員連盟視察報告
 ③ 尾道市 空き家再生プロジェクト

1. 概要

- ✓ 日 時：2020年2月25日（月）13時15分～15時00分
- ✓ 場 所：広島県尾道市
- ✓ 目 的：民間活力を活かした空き家対策についての調査
- ✓ 面談者：NPO 法人 尾道空き家再生プロジェクト 代表理事 豊田雅子

2. 調査結果

1) NPO 法人尾道空き家再生プロジェクトの概要

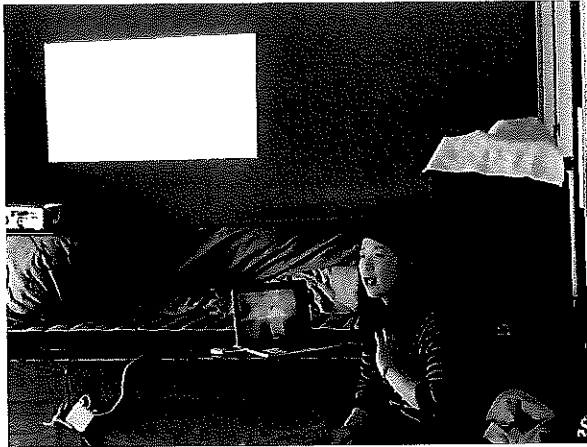
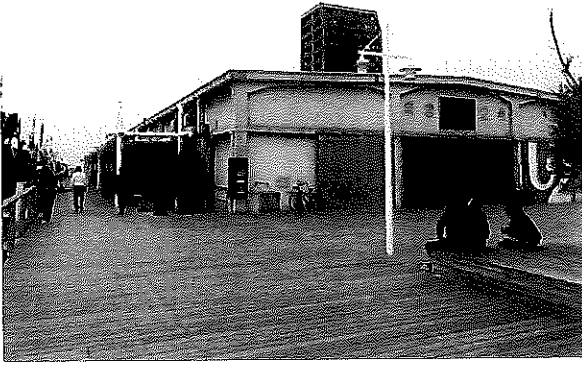
- ✓ 平成9年設立年月...2007年5月 認証日...2008年6月30日有給スタッフ数...常勤/1名、非常勤/0名
- ✓ 活動の目的...空き家の再生や空き家バンクの活性化事業などを通して、古い町並みや景観の保全、移住者・定住者の促進による町の活性化、そして、新たな文化・ネットワーク・コミュニティの構築を目的とする。
- ✓ 経緯...大学卒業後、旅行添乗員として働いていた豊田代表は、歴史的な建造物が現代的な町並みの中で美しく立ち並ぶヨーロッパ各地に感動を覚えた。その後、戦火を免れ、歴史のある町並みを残す尾道に2001年に帰郷。久しぶりの郷里は、少子高齢化などで様々な建物が放置されていた。「好きな地元・尾道で、今ある古い民家を活用して何かしたい」と決意。2007年6月、千光寺山斜面に建ち、独創的な設計で「ガウディハウス」の愛称で呼ばれる民家を購入し、修復を始めた。その活動は、ブログ等で大きな反響を呼び、翌月賛同する約20人で前身となる市民団体を設立した。「ガウディハウス」は令和2年2月に完成した。
- ✓ 活動内容...1. 町並み保全のための空き家再生事業・空き家再生事業・現地でチャリティ蚤の市・空き家で放置された家財道具の運び出しは困難なため、再生物件で蚤の市を開催し、古い家財の運び出しの負担軽減と集客を同時に実現。・尾道建築塾 2. 定住促進とコミュニティの確立を図る事業・尾道空き家談義・尾道の空き家問題と関わりのあるゲストを招いて情報交換をする。・空き家バンク・尾道市からの受託事業。市が空き家の登録業務をし、NPOが市民・大家さんの窓口業務を行う。3. 新たな文化とネットワークの構築事業・尾道まちづくり発表会

2) 課題および意見交換内容

- ✓ 行政との距離感については、付かず離れずの絶妙な立ち位置をとっていた。また、尾道市長は、民間の自由な発送を起爆剤として期待しており、信頼を寄せている。文化振興課をはじめ多くの部署と日頃から連携が取れる体制が構築されている。
- ✓ 空き家バンクを通じ、移住者も増加しており、220人を越える。若い世代が多く、個人事業主が多くを占める。
- ✓ 事業を通じ最も重要としているのはコミュニティである。
- ✓ 建築基準法により建て替えができない地域が多くあるので苦労している。解体された跡地には尾道市の市民提案事業を活用し、空き地の再生を行なっている。

3. 考察及び所見

- ✓ NPO 代表理事である豊田さんの郷土愛を源としたパワーが本事業の原動力となっている。また、豊田さんのところへ集まる人々が20代から30代という若い世代が中心となり事業を力強く推進をしていた。問題意識を持ちつつも、自分たちが楽しみながら参加をしていく空気感が醸成させていることが、次々とアイデアが湧き、すぐに行動に移すことができるのだと考える。「当事者意識」「参加型」がポイントである。特筆すべきは行政との距離感である。行政の下請けという関係ではなく、付かず離れずの絶妙な立ち位置をとっていた。特に空き家問題は行政の力だけで解決するのは困難であることから、民間の活力は欠かせない。この度の事例を本県の課題解決にも活かしていきたい。



【県政への反映】

今回の視察先で感じたことは、強みを的確にとらえ様々な連携の中でその強みを更に伸ばし、民間とも融合し弱点を補っていることであった。本県においても観光としての強みは数多くあるが、それを総合的にとらえ、活かす工夫が必要であると考え。また、他県と広域的に連携する場合、観光資源の少ない地域に不公平感を発生させない事が重要であると考え。そして、新型コロナウイルスの影響により、インバウンド重視の問題点が浮き彫りとなった今、リスク分散を検討する必要があるものと考え。

整理番号	3-14-2-2
------	----------

決裁	会派代表者		経理責任者		経理担当者	
----	-------	---	-------	---	-------	---

支出証拠書

(会派名・議員氏名 自民改革会議・鈴木啓嗣)

経費項目	調査研究費・研修費・広聴広報費・要請陳情等活動費・会議費・資料作成費・資料購入費(事務費)・事務所費・人件費		
内容	郵送料(政務活動関係書類)		
年月日	令和2年2月4日~令和 年 月 日	金額	440円


目的	1月分政務活動関係書類を会派へ郵送
用途	郵送料(政務活動関係書類)
政務活動・ 県政との 関連性	-

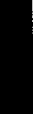
《領収書貼付枠》

領収書

鈴木啓嗣 様

<p>「証紙切手引受」 第一種定形外(親格内) 1通 @120 44.5g ¥120</p> <p>特殊取扱 (内記) ¥320</p> <p>簡易書留 ¥320</p> <p>小計 ¥440</p>	<p>郵便物引受合計通数 1通 ¥440</p> <p>課税計(10%) ¥40</p> <p>(内消費税等 ¥0 非課税計</p>
<p style="font-size: 24px; font-weight: bold;">合計 ¥440</p> <p>お預り金額 ¥500</p> <p>おつり ¥60</p>	



〒100-8792 日本郵便株式会社
東京都千代田区大手町2-3-1
取扱日時: 2020年2月4日 13:55
担当: 
発行No. 200204A6050 端N34箱01
運送先: 篠原郵便局
TEL: 053-447-4442

按分の理由	領収書金額 (a)	按分率 (b)	政務活動費支出額 (a×b)
全て政務活動にかか るもの。	440円	/	440円
		100%	

整理番号 3-14-2-3

決裁	会派代表者		経理責任者		経理担当者	
----	-------	--	-------	--	-------	--

支出証拠書

(会派名・議員氏名 自民改革会議・鈴木啓嗣)

経費項目	調査研究費・研修費・ <u>広聴広報費</u> ・要請陳情活動費・会議費・資料作成費・資料購入費・事務費・事務所費・人件費		
内容	広聴広報費(政務活動用ホームページ1月管理サポート費)		
年月日	令和2年2月6日~令和 年 月 日	金額	18,110円

目的	県民に政務活動をホームページにて広報する
使途	政務活動用ホームページ1月管理サポート費
政務活動・ 県政との 関連性	ホームページを使用することにより、県民により広く政務活動を広報することができる

《領収書貼付枠》

ご利用明細 静岡銀行 SHIZUOKA BANK

ご利用ありがとうございます。
内容をご確認いただきお持ち帰りください。

年月日	振替先店番・科目・口座番号		
02:02:06	050		
銀行番号	店番号	科目	口座番号

お取扱店	お取引内容	お取引金額
0378	お引出し	¥18,000
お取扱枚数	*****	
	おつり	残高

キャッシング	手数料	時刻
	¥110	10590036

お振込先明細・ご案内
 スス`オカ
 サリカ`セ
 普通 0480639
 イマクロテ`サ`イン コイケ トシヒコ 様
 スス`キ ケイン` 様
 TEL053-448-5022

*前月不足分の
1,500を上乗せして
振込。

06.520.38

(裏面もご覧ください)

按分の理由	領収書金額 (a)	按分率 (b)	政務活動費支出額 (a×b)
全て政務活動にかかるもの。	18,110円	/	18,110円
		100%	

NO. 202001-39
2020年 1月 31日

御 請 求 書

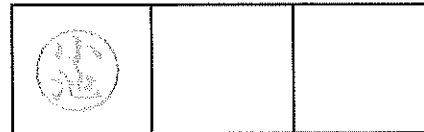
鈴木啓嗣 様

Imacro Design
イマクロデザイン
〒435-0006 静岡県浜松市東区下石田町136
TEL 053-422-7017 / FAX 053-571-5112

担当者 小池 敏彦

下記の通り、ご請求申しあげます。

合計金額 ¥16,500



品 名	数 量	単 価	金 額	備 考
2020年1月HP管理サポート費	1 式	15,000	15,000	
合計(税無)			¥15,000	
消費税			¥1,500	
総計(税込)			¥16,500	

備考:

振込先: 浜松いわた信用金庫 市野支店 (普) 2080574 小池敏彦
静岡銀行ささがせ支店 (普) 0480639 イマクロデザイン 小池敏彦

様式第1-1号

整理番号	3-14-1-2
会派代表者	
経理責任者	
経理担当者	

支出証拠書

(会派名・議員氏名 自民政革会議・鈴木啓嗣)

経費項目	調査研究費・研修費 (広聴広報) 要請経費・会議費・資料作成費・資料購入費・事務費・事務旅費・人件費
内容	広聴広報費(政務活動用ホームページ12月管理サポート費)
年月日	令和2年1月7日
金額	15,110円

目的	県民に政務活動をホームページにて広報する																
用途	政務活動用ホームページ12月管理サポート費																
政務活動・県政との関連性	ホームページを使用することにより、県民により広く政務活動を広報することができる																
《領収書貼付枠》	<p>ご利用ありがとうございます。 内容をご確認いただきお持ち帰りください。</p> <table border="1"> <tr> <td>年月日</td> <td>02/01/07</td> <td>振込先</td> <td>静岡銀行</td> </tr> <tr> <td>振込元</td> <td>0378</td> <td>振込額</td> <td>¥15,000</td> </tr> <tr> <td>振込種別</td> <td>普通</td> <td>手数料</td> <td>¥110</td> </tr> <tr> <td>振込口座</td> <td>0480639</td> <td>口座番号</td> <td>050</td> </tr> </table> <p>振込金額を失念、差額1500円は、来月分は、来月分にて振込予定、今月は、16500円以内の金額を充当</p> <p>イマクトデザイン 様 TEL053-448-5022</p>	年月日	02/01/07	振込先	静岡銀行	振込元	0378	振込額	¥15,000	振込種別	普通	手数料	¥110	振込口座	0480639	口座番号	050
年月日	02/01/07	振込先	静岡銀行														
振込元	0378	振込額	¥15,000														
振込種別	普通	手数料	¥110														
振込口座	0480639	口座番号	050														

振込の理由	政務活動費支出額(a×b)
全て政務活動にかか	15,110円
もの。	100%
領収書金額(a)	15,110円
振込率(b)	100%

NO. 201912-39
2019年12月31日

御請求書

鈴木啓嗣 様

Imacro Design

〒435-0006 静岡県浜松市東区下石田町136
TEL 053-422-7017 / FAX 053-571-5112

担当者 小池敏彦

下記の通り、ご請求申し上げます。

合計金額 ¥16,500

品名	数量	単価	金額	備考
2019年12月HP管理サポート費	1式	15,000	15,000	
合計(税無)			¥15,000	
消費税			¥1,500	
総計(税込)			¥16,500	

備考:

振込先: 浜松いわた信用金庫 市野支店 (普) 2080574 小池敏彦
静岡銀行 さがほ支店 (普) 0480639 イマクトデザイン 小池敏彦

令和 年 月 日

予約番号:705552

鈴木 啓嗣 様

〒420-8509 静岡市葵区追手町2-12

静鉄観光バス株式会社

代表取締役社長 中澤 直樹

担当者: [Redacted]

TEL:054-251-6415/FAX:054-251-6710

【御請求書】

期 間:令和2年2月17日(月)~18日(火)

件 名:和歌山県庁・和歌山県防災センター・神戸人と防災未来センター 視察

項 目	単 価	数 量	小 計	摘 要
【交通費:JR代(普通指定席利用)】				
JR券代(2月17日浜松~和歌山/2月18日新神戸~浜松)	22,510	1	22,510	
【現地交通費】				
現地交通費:和歌山~神戸市内~新神戸駅	16,800	1	16,800	
【宿泊費】				
2月17日:宿泊費(和歌山市内)	16,500	1	16,500	シングル利用
合 計			¥55,810	税込価格
ご入金額			¥55,810	
今回ご請求金額			¥0	

作成日 2020年2月16日

鈴木啓嗣先生 視察日程表

観光庁長官登録旅行業第153号日本旅行業協会会員

タイトル：和歌山県庁訪問と神戸 人と防災未来センター視察

静鉄観光サービス株式会社本店営業部

団体名：静岡県議会 地震・津波対策を考える議員連盟 様

所在地 静岡市葵区追手町2-12

TEL 054-251-6415

FAX 054-251-6710

幹事様：鈴木澄美様 電話 054-221-2566

総合旅行業務取扱管理者：

責任者：

担当者：



ご一行様： 13名男 0名女 0名

旅行日	行程
2020年2月17日～2月18日	1泊2日

月日	行程
1 2月17日 (月)	<p>浜松10:37■ひかり465■12:00新大阪12:15■くろしお11号(車中弁当)■</p> <p>*和歌山市湊通丁北1-2-1</p> <p>■13:15和歌山■タクシーにて■和歌山県庁南別館(視察訪問)■ 14:00～16:30</p> <p>■タクシー■ダイワロイネットホテル和歌山【泊】 16:40頃</p> <p>宿泊先:ダイワロイネットホテル和歌山 〒640-8156 和歌山県和歌山市七番丁26-1 TEL 073-435-0055</p>
2 2月18日 (火)	<p>ホテル■貸切バス■阪和道・阪神高速道路■神戸 人と防災未来センター■ 8:30 10:30～12:00</p> <p>■新神戸駅13:52■のぞみ26■14:55名古屋14:59■こだま662■15:48浜松 12:45</p> <p>*新型コロナウイルスの関係で2日目の視察先が変更になりました。</p>

*この計画は 2月16日 現在のスケジュールです。各地の道路事情等により、行程が変更になる場合があります

ご宿泊利用 予定ホテル	地名	利用施設	備考
	和歌山市内	ダイワロイネットホテル和歌山 住所:和歌山市七番丁26-1	洋室シングル利用 TEL:073-435-0055

決 裁	会派代表者		経理責任者		経理担当者	
<p>県 外 調 査 概 要 書</p> <p>令和2年2月20日</p> <p>会派名・議員氏名 自民改革会議・鈴木啓嗣</p>						
目 的	<p>本県に似た環境下(湾岸と一部平坦な海岸線に面した)の和歌山県の、対する 取り組みを視察し、本県の地震・津波対策への参考とする</p>					
年 月 日	令和2年2月17日～令和2年2月18日					
場 所	和歌山県庁・和歌山県防災センター・湯浅町・広川町					
内 容	<p>1 行程</p> <p>2 応対者</p> <p>3 聴取内容 1～3については、「加藤議員提出1-15-2-3を参照」</p> <p>4 県政への反映</p> <p>・和歌山県庁 和歌山県では、ハード対策で防ぎ切ることには困難であるとの考えから、津波から「逃げ切る！」ことに重点を置き津波対策がとられている。これは、かけられる予算が限られているという問題と、沿岸部に多くの人口が集まり、高台への距離が近いという地域特性を考慮した効率の良い津波対策であると考え。この対策には災害に備えた情報伝達が重要であり、現在、和歌山県では情報発信力と地震・津波観測情報収集力の強化に取り組んでいる。</p> <p>本県には遠州灘、駿河湾、伊豆地域と様々な沿岸地域の特性があり、それぞれの地域に合った対策がとられているのか、今一度確認する必要があるものと考え。また、和歌山県でも問題となっている、災害避難弱者への対応を強化するため、更なる地域防災力の向上に尽力する必要があるものと考え。</p> <p>・人と防災未来センター 人と防災未来センターでは、情報の発信、人材の育成、様々な機関との連携を実現させている。国も自助、共助の重要性を強く訴えている現在、本県においても、静岡県地震防災センター等を利用し積極的な発信を続けることにより、県民の防災意識向上に繋げていくことが減災の第一歩であるものと考え。</p>					

*本概要書は、県外における調査研究活動のために政務活動費を支出した場合に提出する。